

調光について

- 調光器2次側の負荷は、2灯以上接続してください。1灯だけの接続ではランプがちらつくことがあります。
- 調光器は500W以上の容量のものをご使用ください。
- 詳細は電子トランスの取扱説明書を参照してください。

保守とお手入れ



注意

必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
 - ・スイッチが入っているか？
 - ・ランプが切れていないか？
 - ・ランプがソケットに確実にハマっているか？
- 低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足（光束不足）を生じることがありますが、故障ではありません。時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。

お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。
- ◇汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ガラスはこわれやすい材料です。お取扱の際には、両手で静かに行なってください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。
- ◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。



愛情点検

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

リビナ本館	〒101-0021 東京都千代田区外神田 1丁目5番10号 TEL (03) 3253-5111 (代表)	広島営業所	〒730-0032 広島県広島市中区立町 2番25号 日栄広島ビル9階 TEL (082) 249-5255 (代表)
東京営業部	〒101-0021 東京都千代田区外神田 1丁目5番10号 TEL (03) 3253-5143 (代表)	福岡営業所	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通 5丁目23番8号 TEL (092) 721-5661 (代表)
外面事業本部	〒101-0021 東京都千代田区外神田 1丁目5番10号 TEL (03) 3253-5150 (代表)	千葉出張所	〒260-0007 千葉県千葉市中央区祐光 4丁目13番5号 TEL (043) 225-0061
札幌営業所	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西2丁目9番地 オーク札幌ビル6階 TEL (011) 221-1321 (代表)	宇都宮出張所	〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉4丁目18番19号 ｸｵｰｶﾞﾙﾊｲﾂ101号 TEL (028) 638-1002
仙台営業所	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 1丁目13番22号 仙台松村ビル3階 TEL (022) 227-1251 (代表)	高崎出張所	〒370-0071 群馬県高崎市小八木町 2008番5 三恵レジデンス107 TEL (0273) 62-6920
横浜営業所	〒231-0047 神奈川県横浜市中区不老町 1丁目1番14号 TEL (045) 664-2871 (代表)	新潟出張所	〒950-0982 新潟県新潟市堀之内南 1丁目32番16号 山下ビル3階 TEL (025) 247-7243
名古屋営業所	〒460-0006 愛知県名古屋市中区薬 1丁目22番20号 TEL (052) 931-3223 (代表)	静岡出張所	〒420-0839 静岡県静岡市藤匠 2丁目4番7号 ｼｬｰﾍﾞｯｼｭ 1階 TEL (054) 273-5305
金沢営業所	〒920-0864 石川県金沢市高岡町 3番20号 安田生命ビル6階 TEL (076) 222-6733 (代表)	富山出張所	〒939-8093 富山県富山市西大泉 14番3号 TEL (076) 420-7811
近畿営業部	〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋 3丁目4番9号 TEL (06) 6643-3211 (代表)	松山出張所	〒790-0963 愛媛県松山市小坂 3丁目4番28号 ｴｽﾀﾃﾞｳﾐ小坂 301 TEL (089) 933-6737
高松営業所	〒760-0062 香川県高松市塩上町 3丁目8番11号 勇民ビル302 TEL (0878) 39-3195 (代表)	岡山出張所	〒700-0826 岡山県岡山市磨屋町 10番20号 磨屋町ビル4階 TEL (086) 224-1526

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書

NEW SQUARE 連灯ADJUSTABLE

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいますと誠にありがとうございます。この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

- 電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目次

- 1ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
- 2ページ：定格表・寸法図、部品名称と取付方法
- 3ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意、ランプ取付方法と照射方向の調整
- 4ページ：調光について、保守とお手入れ、アフターサービス

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

警告

	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実にに行なってください。 ◇電気工事は電気設備技術基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付けは、取付場所（天井）の強度を確認し、質量に耐える所に確実にに行なっていく。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。
	火災のおそれがあります ◇被照射面との距離は、2ページ表の照射面近接限度の距離以上に離してください。 ◇器具に表示されている以外のランプを取付けないでください。 ◇断熱材・防音材でおおわないでください。

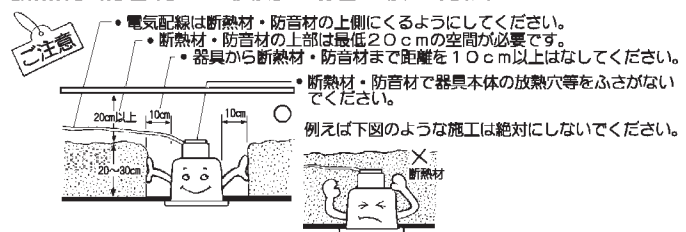
1.0m 60℃

器具表示例
表示距離以上（距離は器具によって異なります）
* 上記は1.0mで被照射面の温度が60℃になることを表わします



被照射面

断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法について



- ◇住宅の断熱施工された天井には使用できません。法律で禁じられています。
- ◇断熱材で覆わないでください。火災の原因になります
- ◇住宅以外の建物に使用するときは、左図のように行って下さい。

注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- ◇断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- ◇器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- ◇天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付けおよび傾斜天井への取付けはしないでください。
- ◇落下・感電・火災の原因となります。
- ◇表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇アース工事の必要な器具は電気設備技術基準にしたがって確実にに行なってください。感電の原因となります。
- ◇可燃性材質のドア等の近くに設置する場合は、ドア等の開閉により、指定距離を下回る位地に可燃物が近づかないようご注意ください。火災の原因になります。

お願い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

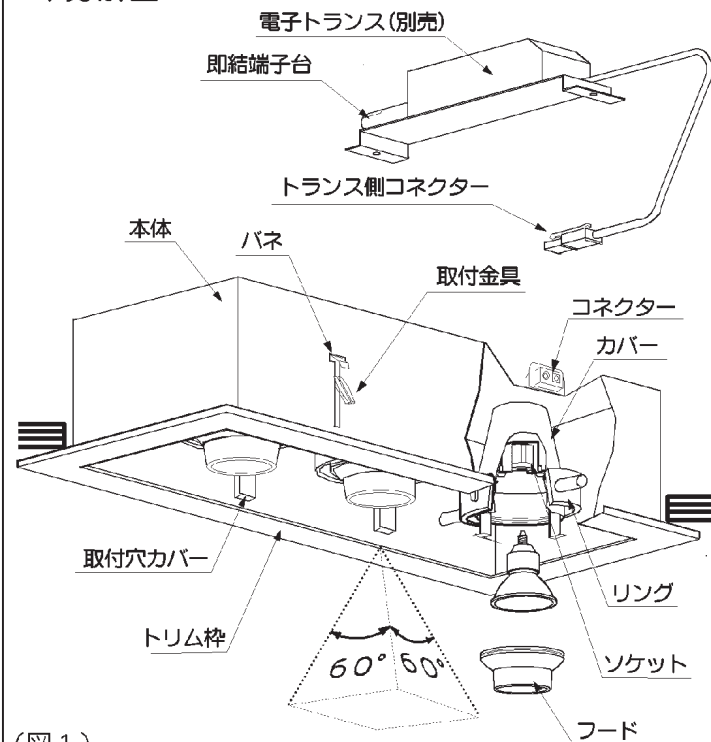
定格表

カタログNo 型 番	天井切込寸法および器具寸法	入力電圧	消費電力	定格・適合ランプ 適合トランス	質量	近接照射 限度距離
D5404B 88DK-12G1-2B	120 × 240 	AC12V	100W	EZ10 ダイクロックミラー付 ハロゲンランプ MR16 12V50W φ50 (ランプ別) Z6129 電子トランス (調光可能・別売)	1.4kg	1.0m
D5405B 88DK-13G9-3B	120 × 360 		150W		2.0kg	
D5406B 88DK-14G6-4B	120 × 480 		200W		2.5kg	

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

部品名称と取付方法

◇分解図 (図は器具を省略抽象化した共通のものです。)



(図1) ドライバー
ストリップゲージ

適合電線
φ1.6 φ2.0 単線
送り容量: 20Aまで

電線をストリップゲージに合わせ、被覆をむいてください。
矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
外すときは、解除ボタンをドライバー等で押込んで外してください。

(図2) 本体側
ロック
トランス側

コネクターはロックされるまで確実に差し込んでください。
外す時はロックを解除してから抜いてください。

(図3) ●取付ける場合
①金具を押さえ灯体を挿入する。
●取外す場合
②つまみながら押し上げて穴から抜く
①つまんで緩める

(図4) 取付穴カバー
パネ
ツメ
0~40mm

◇取付方法

①取付前の確認をする

取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにします。
・不備がありますと**器具落下の原因**となります。

②天井切込穴をあける

定格表の切込寸法に従って天井に穴をあけます。
切込寸法公差は±2mmとしてください。
不備がありますと**器具落下の原因**となります。

③電源線を電子トランスの端子台に接続する(図1)

電源線とアース線の芯線を14mm皮むきし、即結端子台に接続します。
接続が不完全な場合、定格容量を超えた場合は**火災・感電・不点灯の原因**となります。

④コネクターを接続する(図2)

トランスからのコネクターをそれぞれ、本体の各コネクターに接続します。
不備がありますと**火災・感電・不点灯の原因**となります。

⑤本体を取付ける(図3)

本体の取付金具を押えながら天井穴に入れ、取付金具を引下げ固定します。
不備がありますと**器具落下の原因**となります。

⑥取付穴カバーを取付ける(図4)

各取付穴に取付穴カバーを取付けます。まずカバー下側のツメを取付穴に入れカバー上側のパネを取付穴に押し込むようにして固定します。

⑦ランプを取付と照射方向の調整

3ページの「ランプ取付方法と照射方向の調整について」に従って適合ランプをお確かめのうえ、ランプをソケットに取付け、調整をおこなってください。
不備がありますと、**不点灯の原因**となります。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告



感電のおそれがあります

◇ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。



感電・火災のおそれがあります

◇異常時(煙が出たり、変な臭いがする時)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。



感電・火災のおそれがあります

◇器具及び部品の改造をしないでください。
◇器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。



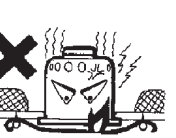
やけどのおそれがあります

◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。



火災のおそれがあります

◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。
◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。
又揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。
◇断熱材・防音材でおおわないでください。



⚠ 注意

◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検してください。

器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。

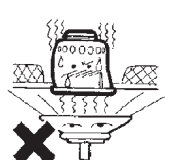
◇ランプ、ソケット台、及びフードの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。

落下によるけがの原因となることがあります。

◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。

器具の変形や火災の原因となることがあります。

◇点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。やけどの原因となります。



ランプ取付方法と照射方向の調整について

◇ご注意

●本体表示に従って、必ず下記のランプを使用してください。

指定以外のランプを使用しますと**火災の原因**となります。

●点灯中・消灯直後のランプは高温になっています。

手をふれないでください。**やけどの原因**となります。

●ランプやフードはしっかりねじ込んで確実に取付けてください。

不備がありますと**落下・不点灯の原因**となります。

◇ランプの取付方法

●最初にフードを外して、ソケット台ごとソケットを引き出します。

●次に、ソケットにランプをしっかりねじ込みます。

不備がありますと**不点灯の原因**となります。

●ソケット台を押し込み、フードをしっかりとねじ込みます。

不備がありますと**落下の原因**となります。

カタログ番号	適合ランプ・トランス
D5404B	EZ10 ダイクロックミラー付
D5405B	ハロゲンランプ 12V50W (ランプ別)
D5406B	電子トランス Z6129 (別売)

◇照射方向の調整

●点灯中ならびに消灯直後の器具は非常に高温になっています、作業開始には消灯から20分以上待ってください。
点灯または通電したままで作業しますと、**感電・やけど等の原因**になります。

●照射方向を調整するには、フード部分を直接持って、カバーごと前後左右へ動かしてください。

●照射方向の範囲は右図の通り器具に対して前後左右へ片側30°までです。
また、無理にそれ以上動かさないでください**器具落下の原因**となります。



注意 必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因になります。

